

【理事会議事録】

日 時：2010年2月23日(火) 午後5時半～6時半

場 所：国立天文台すばる解析研究棟1F 院生セミナー室

出席者：國枝、竹田、高田、田代、本間、半田（以上6名）

書面表決状提出者：渡邊、堂谷、児玉、小川、藤沢、小嶋、藤本（以上7名）

欠席者：柴田、田村（以上2名）

また、宮下事務長が出席した。

議事に先立って議長と署名人の確認がなされた。

議 長：國枝秀世

署名人：高田唯史、竹田洋一

1. 議 題

「内地留学奨学基金に関する財務規定」、「研究奨励基金に関する財務規定」、「早川幸男基金に関する財務規定」、「林忠四郎基金に関する財務規定」、「創立100周年記念出版事業に関する財務規定」、の5つの規定のそれぞれ第2条（使途）について、「変更しやすい内規でなく定款第5条の1～8号に準拠するように改定するように」と文部科学省から指導を受けた経緯が資料に基づき宮下事務長から説明され、議論の結果これをそのまま受け入れた改定案で承認された。またこれを機に学术交流基金に関する内規と財務規程も制定する方向で進むことになった。

2. 報 告 半田教育理事から、昨年好評だった世界天文年巡回展の今年の引き継ぎ開催の募集については現在既に全国から5～6件の打診が来ていることが述べられた。また折角作成した日本天文学会のロゴをこれからは関連行事のパンフレットやポスターにも積極的に使用するよう努めるとの意向表明があった。

田代会計理事からは、年会中の講演会の講師などに日本天文学会から支払う旅費支給規程案がほぼまとまり、次の理事会に諮る予定であることが報告された。竹田庶務理事から、前回の理事会で話題に出た「賛助会員への見返り」についていささか事実誤認があったことの訂正報告があった。つまり現在でも月報・予稿集（また希望者に対しては欧文報告も）をきちんと配布しており、定期的に賛助会員リストを月報や予稿集に掲載し、更には（賛助会員会費の直接の用途となっている）年会参加旅費援助の恩恵を受けている若手の会からお礼も兼ねて会員各社に毎年活動報告書も送られているのが実態である。

【資料リスト】

内地留学基金、研究奨励賞基金、早川幸男基金、林忠四郎基金、

創立100周年記念出版事業基金、に関する財務規程の改定案

2011年2010年3月10日

議 長：國枝秀世 印

署名人：高田唯史 印

署名人：竹田洋一 印